天文情報誌 Vol. 322 2022年4月 号

## ほしぞら

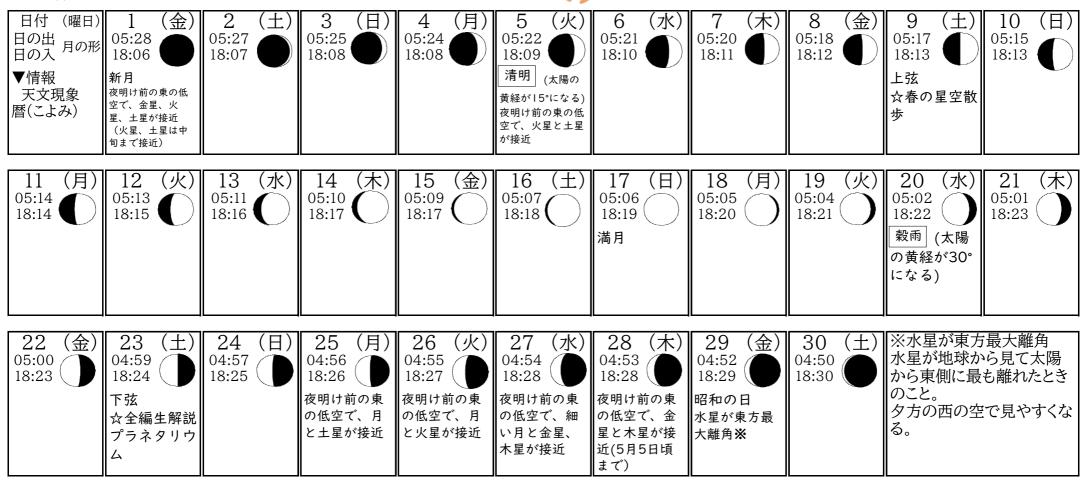
発行: コニカミノルタ サイエンスドーム

協力:株式会社 東急コミュニティー



## 太陽と月のカレンダー 🥻

※日の出・日の入りは八王子での時刻です。



二十四

二十四節気とは、太陰暦(月のみちかけの周期を1か月とする暦法。旧暦。)を使用していた時代は暦と季節が少しずれるので、季節とずれない目印として考え出されました。春分や夏至などを基準に1年を24等分し、区切りの日に名前をつけたものです。現在でも季節の節目に、これを示す言葉として使われています。

清明(せいめい)…清浄明潔の略。晴れ渡った空にはまさに清浄明潔という語がふさわしい。地上に目を移せば、百花が咲き競う季節です。

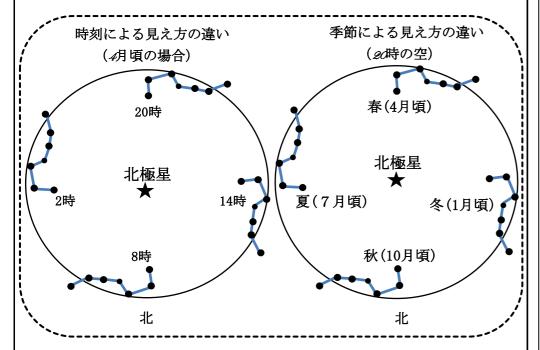
製雨(こくう)…田んぼや畑の準備が整い、それに合わせるように、柔らかな春の雨が降る頃。この頃より変りやすい春の天気も安定し日差しも強まります。

## 北斗七星は、夜空の時計

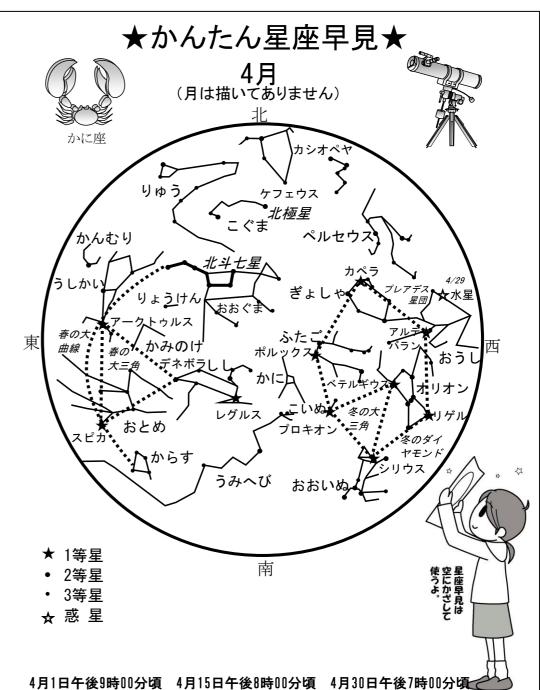


北の空を眺めてみましょう。七つの星がひしゃくのような形に並んでいます。 この星の並びを北斗七星といいます。七つの星のうち六つが2等星です。こども 科学館の近くからでも簡単に見つけることができます。中緯度に位置する日本か ら北斗七星は、ほぼ一年中見ることができますが、春は北斗七星が空高くのぼり 、探しやすくなります。

星は北極星を中心に空に円を描くように廻(めぐ)っていき、1時間で15°動くので一日で一回り(360°)し、時間の経過を知ることができます。北極星を中心に北の空をまわる北斗七星は、夜空の時計にたとえられます。北斗七星の見える位置が時刻によって変わるのは、地球が自転しているためです。



一年間、同じ時刻に北斗七星を観察してみると、季節によっても見える 位置が変わります。一年で一回り(360°)するため、一年後には同じ位置に 戻ってきます。季節によって北斗七星の見える位置が変わるのは、地球が 太陽の周りを一年かけて公転しているためです。北斗七星は時計とカレン ダーの両方の役割を担(にな)うことができます。



- ★プラネタリウムイベント情報!(詳しくはホームページhttp://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.htmlをご覧ください。)
  - ★春の星空散歩 … 4/9 (土) 15:30~16:20 見ごろの星や星座、惑星、天文現象などについて紹介
  - ★全編生解説プラネタリウム ··· 4/23 (土) 15:30~16:20 星空の解説とテーマ解説「宇宙はどれぐらい大きいの?」

※入館は事前予約制です。詳しくはホームページ等でご確認ください。

